

■新建築家技術者集団 全国研究集会 in 犬山

2018. 11. 17-19

準備は大変でしたが、当日もたくさんの方が臨機応変に動いてくださり、大成功だったと思います。実行委員としてだけでなく参加者としても充実した研究集会でした。演奏会と講演会内容がすばらしかったです。これからの活動にもつながる集会になったと思います。見学会 A の明治村も楽しんでいただけたようで、ホッとしました。(黒野)



明治村・見学会の報告（11/19 見学会 Aコース）

■明治村（1965 年開村）

博物館明治村は、名鉄の土川元夫氏と建築家・谷口吉郎氏の尽力により設立されました。

初代館長でもある谷口吉郎氏は、藤村記念堂（馬籠）や著書「雪あかり日記」（ドイツ滞在記）で有名です。10ヶ月のヨーロッパ滞在後の1940年3月、ながらく華族会館として使われてきた明治の「鹿鳴館」が、戦時の総動員体制にはふさわしくない施設だとみなされたため取壊され、その跡地には生産力の増強を押しすすめる商工省のバラック庁舎などが建てられました。そんな光景に胸を痛めた谷口氏は、「明治村」を構想・開設しました。

明治建築に対する愛惜の情、外国ではつかわなくなった建物を博物館に転用することが多いという、ヨーロッパ諸国を見聞きしてきた谷口氏。ともに学んだ土川氏とともに、古い建築を惜しむ気持ちが67件の建築から感じられます。

■行程

9：00～犬山館出発（タクシーにて明治村まで移動）

10：00～12：00 ボランティアガイドさんによる案内

三重県庁舎・宇治山田郵便局・呉服座・聖ザビエル天主堂・帝国ホテルなど

12：00～昼食：浪漫亭のオムライス・明治村オリジナルビール等ののち解散、自由行動

■報告

秋晴れの中、参加者10名にて明治村を見学しました。月曜日だったので、来園者も少なめで、紅葉と明治建築に囲まれた、優雅な時間を共有できました。遠くに見える池や紅葉や明治建築の風景は本当に幻のように美しく、終始うっとり。

宇治山田郵便局では、記念切手を買ったり、年代順にならぶポストの歴史を見たり。聖ザビエル天主堂では美しいステンドグラスが見れました。帝国ホテルでは名古屋で設計事務所を営む方がボランティアガイドをやっていて、名刺と建まち誌11月号もお渡しして新建の説明をしたりして、新しい出会いがこんなところでもありました。

中島先生や高田さん・甫立さんと帝国ホテルの喫茶にて、建築の話やさつまいもの話をしながら親交を深めることもでき、コーディネーターとしても参加者としても楽しい時間を過ごすことができました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございます。

研究集会とともに、おつかれさまでした。

（報告：黒野晶大）

